

約5千社あるとされている。(ウィキペディアより)



(田中)
神明社

とめて遷座させ、その他の神社を廃することによって、神社の数を減らすというもの。主に明治時代末期に行われたものをさす。』(ウィキペディア)



氷上姉子神社の神明社

近郊の神明社

名古屋市および緑区近郊で独立した社を持つ神明社は下記のようになります。

区・市	箇所	区・市	箇所
西	6	昭和	2
北	3	天白	0
東	1	港	22
守山	4	南	8
中村	7	瑞穂	1
中	1	緑	5
千種	0	大府	4
名東	2	東海	3
中川	24	豊明	5
熱田	6		

「名古屋神社ガイド 他」より抜粋

緑区には5箇所(氷上姉子神社は除外)の神明社があります。

大高は先述した2社で、他に桶狭間、平手、曾根にあります。

祭神

東海市の荒尾町山王の神明社のみが、天照大御神と国常立尊の2柱を祭神としているが、それ以外の中川区(24)大府市(4)豊明市(5)東海市(2)は、すべて天照大御神を祭神としています。

氷上姉子神社のように境内末社として神明社がある神社は多いようです。近郊の成海神社・有松天満社・船津神社も同様です。

この理由として、神社合祀があるのではと思っています。

『神社合祀とは、神社の合併政策のことである。神社整理とも呼ばれ、複数の神社の祭神を一つの神社に合祀させるか、もしくは一つの神社の摂・末社にま

国之常立神

『古事記』では^{くにのとこたちのかみ}国之常立神、『日本書記』では国常立尊と表記される。別名を^{くにのそこたちのみこと}国底立尊ともいう。『古事記』において神世七代の最初の神とされ、^{ことあまつかみ}別天津神の最後の^{あめのとこたちのかみ}天之常立神の次に現れた神で、独神であり、姿を現さなかったと記される。『日本書記』本文では天地開闢の際に出現した最初の神としており、「純男(陽気のみを受けて生まれた神で、全く陰気を受けていない純粋な男性)」の神であると記している。『記紀』ともに、それ以降の具体的な説話は無い。

神名の「国之常立」は、「国」を「国土」、「常」を「永久」と解し、名義は「国土が永久に立ち続けること」とする説や日本の国土の床(とこ、土台、大地)の出現を表すとする説など諸説ある。

国之常立神を祭神とする神社は多数あるが、その一部を紹介します。

- ・玉置神社(奈良県十津川村)・西代神社(大阪府河内長野市)この2社は祭神の筆頭が、国之常立神です。他に別の神も同格で祀られています。
- ・日枝神社(東京都千代田区)・熊野速玉大社(和歌山県新宮市)この2社は主祭神が別にあり、準祭神として国之常立神を祀っています。

(ウィキペディア)

まとめ

上記のように、国常立尊を祭神としている神社の名称は神明社ではないので、大高の場合も本当は下村神社とか田中神社だったのではないかと想像したくなりました。(完)

令和6年度 大高地域散策会 実施状況

<募集> 企画欄

大高観推協・・・大高地域観光推進協議会主催
 MRF・・・緑区ルネッサンスフォーラム主催
 ツーリズム・・・旅行会社「クラブツーリズム（東京）」主催
 クアオルト・・・緑区役所主催「クアオルト健康ウォーキング」
 大高学区・・・大高学区主催「大高学区ふれあいウォーキング」

	実施月日	企画	案内コース	参加者数
1	5月6日(土)	大高観推協	頭人祭見学(資料あり)	10
2	6月23日(日)	MRF	大高斎田お田植祭見学	22
3	7月6日(土)	ツーリズム	酒蔵見学と大高城跡めぐり	10
4	7月20日(土)	ツーリズム	酒蔵見学と大高城跡めぐり	9
5	9月7日(土)	ツーリズム	酒蔵見学と大高城跡めぐり	15
6	9月28日(木)	大高観推協	熱田神宮大高斎田抜穂祭見学	10
7	10月6日(日)	大高観推協	大高祭り(八幡社)	10
8	10月24日(木)	クアオルト	丸根砦跡・大高城跡	24
9	11月2日(土)	MRF	鷲津砦跡・丸根砦跡	18
10	11月23日(土)	大高学区	氷上姉子神社・斎山稲荷・名和古墳	51
11	12月7日(土)	クアオルト	鷲津砦跡・丸根砦跡	14
12	1月18日(土)	クアオルト	大高城跡・酒蔵見学	18
13	2月23日(日)	MRF	大高城跡	125
14	3月30日(日)	MRF	氷上姉子神社太々神楽見学	11
	計			347

<申込み> 申込み欄 グループ、個人

	実施月日	申込み	案内コース	参加人数
1	5月29日(水)	グループ	氷上姉子神社周辺	22
2	7月11日(木)	グループ	大高城跡	22
3	9月6日(金)	グループ	大高城跡	15
4	10月12日(土)	グループ	氷上姉子神社周辺	6
5	10月13日(日)	個人	氷上姉子神社周辺	4
6	11月9日(土)	グループ	大高城跡	21
7	11月12日(火)	グループ	大高城跡	16
8	2月25日(火)	グループ	氷上姉子神社・大高城跡	49
	計			155

総計 参加者人数 502名

<大高歴史の会のあゆみ>
[令和7年(2024)1月~3月]

<例会> [第2・第4月曜日9:30~12:00 例会(勉強会)を八幡社参集所で開催]

- 第335回(1/13) ほだかの里だより第24号
P1~3 <留と小春の歴史茶話>大高あれこれ6《大高の酒》
- 第336回(1/27) ほだかの里だより第24号
P4~6 大高近在の鳥居について
P7~8 陶枕—新発見「夜寒窯・陶枕」を通して
- 第337回(2/10) ほだかの里だより第24号
P9 大高のできごとあれこれ(平成28年10~12月)
P10~11 大高の古文書第3回御鋤祭り(その1)
- 第338回(2/24) ほだかの里だより第24号
P12 <大高歴史の会のあゆみ> [平成28年(2016)10~12月]
<大高の行事予定>平成29年1月~4月
P13 大高の歴史的石造物を訪ねて
[第24回] 山口ツタ女史追想碑
P12 史跡説明板の紹介 [第4回 玉根社]
- 第339回(3/10) ほだかの里だより第25号
P1~3 <留と小春の歴史茶話>大高あれこれ7《大高斎田の御田植祭》
P4~6 尾張の絵師達(その3)
- 第340回((3/24) P7 大高のできごとあれこれ(平成28年10~12月)
P8~9 大高の古文書第4回 御鋤祭り その(2)
P10 <大高歴史の会のあゆみ> [平成29年(2017)1~3月]

<その他の活動> [会のあれこれ情報]

「会報第56号(令和7年冬号)発行」(1月10日)

約650部、印刷、於 緑区社会福祉協議会 丁合は1月13日の例会にて実施

「新年会開催」1月13日(月)10名参加

新しい年の幕開け親睦会として『駅前酒場「祭」』にて新年会を行った。

「ほだかの里だより56号WEB公開」(2月7日)

会報「ほだかの里だより56号」が大高地域観光推進協議会)のホームページ表紙のニュース/イベント情報の中に掲載されWEB公開されました。写真がカラー化されて見栄えも向上。今後、バックナンバーで55~50号まで順次、公開される予定。

<ガイド実績> 史跡・町並み散策ガイド依頼受付窓口: 深谷篤 090-8952-8610

- 1月18日(土)18名 クアオルト大高城コースと酒蔵見学 (深)
2月23日(日)125名 酒蔵開き散策会 大高城跡コース (深、浜、大、上、杉、初)
3月25日(火)49名 鯨城学園郷土史クラブオビエ会 氷上姉子神社 (深、初、浜、杉)
3月30日(日)11名 太々神楽散策会 氷上姉子神社 (深)

ガイド実績 (1-3月) 4件 203名

<大高のできごと あれこれ>
[令和7年(2025)1月~3月]

「大高地区成人式」(1月13日)(月)

大高・大高南・大高北の3学区合同成人式が大高中学校体育館にておこなわれた。

「どんど焼き」(1月14日)(火)

全国的には左義長(さぎちょう)ともいわれるが大高では「どんど」又は「どんど焼き」と呼んでいる。神社の境内で正月飾りなどを燃す。

この火で焼いた餅を食べると病にかからないと言われていた。今年も八幡社の他、田中の神明社でも行われた。



「酒蔵開き」(2月23日)

恒例の酒蔵開きが神の井、山盛の両酒造にて行われた。新酒の試飲・販売は大人気であり大勢の愛好者が訪れ新酒の味と香りを楽しんでいた。

同時開催の緑区ネットカフェ主催、大高城散策会は江明公園を出発点として行われ瀬音緑区長を始め125名の参加者が集い賑わった。

「にっぽん城まつり」に出展(3月1・2日)

今年も吹上ホールにて開催された。大高地域観光推進協議会ブースにて目玉商品の大高城の新御城印と旧御城印の2種類、砦印、大高絞り巾着袋、等を販売した。

広い会場では、講演会の他、全国の城の紹介や東海3県の酒蔵による日本酒も販売された。

「長寿寺 高蔵坊稻荷例大祭」(3月3日)(日)

行事は神事のみ実施された。伝統の“とうたけ飯”は後継者不足により今年も行われなかった。

「緑区学区対抗駅伝大会」(3月3日)(日)

大高緑地にて開催された。結果は大高学区が見事優勝!大高北が11位、大高南が18位であった。

終了後、緑地にて大高北学区の「ふれあいウォーキング」も行われた。

「春江院 弁財天大祭」3月15日(土)

例年通り、神事と、くじ引きが実施された。

「#緑区の絶品グルメ スタンプラリー」

1月6日~2月28日の間、緑区観光推進協議会主催のスタンプラリーが行われた。緑区内の対象店舗を利用した応募者の中から獲得スタンプ数に合わせて23名に抽選で素敵なプレゼントが贈られた。

「太々神楽」 3月31日(日)

太々講の主催にて氷上姉子神社氏子総代の出席の下、神事と神楽の奉納が執り行われた。

楽人と男役の舞人は熱田神楽笠寺保存会が奉仕し神子役は熱田神宮の巫女が舞い伝統の神楽が披露された

当日は晴天に恵まれた青空の下、神楽見学散策会も開催されて珍しい伝統行事に花を添えた。



大高の行事予定(2025年4月~2025年7月)

4月8日(火)花まつり 釈迦の生誕を祝う行事(春江院・長寿寺・薬師寺・甘茶がいただけます)

5月6日(火)頭人祭 11時~氷上姉子神社 熱田神宮から頭人が派遣され鷹の絵馬と粽(ちまき)を供える。神事終了後、神官が自ら絵馬を壁に掲示して粽は参拝者に配られる

5月18日(日)鷺津・丸根砦慰霊祭 鷺津砦 10時~ 丸根砦 10時30分~

6月22日(日)熱田神宮大高斎田御田植祭 10時~神事と早乙女による田舞、田植えが行われる

7月6日(日)津島社例祭 10:30~ 16:00~中之郷津島社 「祇園祭」

7月9日(水)龍宮社例祭 (旧6月15日)19:30~

上記行事予定は主催者の都合等により変更・中止の場合もあり。

大高の伝統行事 第2回

とうにんさい 「頭人祭」

山口初宏

大高には昔から行われている数々の伝統行事がある。その中から代表的なものを謂れや内容とともに順次、紹介する。

第2回は氷上姉子神社にて行われている「頭人祭」である。

期日 毎年5月6日 11時～

場所 氷上姉子神社 神殿内

(今の所、通常の行事では入ることができない神殿内まで入り座して参詣できる。)

頭人とは一般的には集団の頭、鎌倉・室町幕府における引付衆の長官等を指すが大高の頭人祭では熱田神宮から派遣される使者を示し、新たに採用された若い神官が務められている。

当日は厳かな神事のあと頭人が自ら描き持参したお供えの「鷹の絵馬」を脚立に上がって神殿の壁面に掲げる。その後、お供えの粽(ちまき)を参詣者に配って祭りを締めくくる一連の式典である。



絵馬を掲げる様子

絵馬は当初、神社の神楽殿に飾られていたが神楽殿は昭和34年9月に襲来した伊勢湾台風により倒壊し散在して行方不明になってしまったので現在は伊勢湾台風以降のものが掲げられている。個性があふれる作品ばかりで興味深い。

絵馬に関する説明文を以下に示す。

奉納「鷹の絵馬」について	ここに掲げる絵馬は五月六日の頭人祭で神様にお供えされたものです。	その昔、頭人祭には頭人が熱田神宮より当社に参	の途次、野原において鷹狩	りをし、神様にお供えした	故事にならぬ鷹狩りが出	来ないの鷹の姿の絵馬に	描いて毎年一画が神様に	奉納される。
--------------	----------------------------------	------------------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	--------

参詣者に配られる粽は各家庭の玄関などに掲げると病気に罹らないと伝えられる。



ちまき
粽配りの様子

< 関連情報 >

出典:デジタル大辞典 小学館

頭人とは

- 1 集団の頭、頭目
- 2 鎌倉・室町幕府における引付衆の長官
- 3 室町幕府の政所(まんどころ)・評定所・侍所(さむらいどころ)の長官

ほだかの里だより WEB 公開

ほだかの里だより 5 6号は下記にて公開

<https://odaka-kankou.com/>

大高の歴史を学び伝える

大高歴史の会 会報

第57号 2025年4月

[平成21年(2009)4月発足]

連絡先 (代表) : 山口 初宏

〒459-8001

名古屋市緑区大高町字天神44

052-623-2307

散策関係 担当 : 深谷 篤

090-8952-8610

会報は年4回発行の予定です。

(冬1月、春4月、夏7月、秋10月)

会報バックナンバーご希望の方は上記連絡先へお問い合わせ願います

(本号の編集は山口初宏が担当しました)